



微生物学的検査に関するご案内 (抗酸菌検査)

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
今年度、検査内容を変更した項目および新規に受託を開始した項目のご案内を申し上げます。

謹白

記

● 内容変更項目 (⇒ 2ページ)

- 抗酸菌薬剤感受性検査
 - ・非結核遅発育抗酸菌 (SGM) 薬剤感受性検査
 - ・非結核迅速発育抗酸菌 (RGM) 薬剤感受性検査

● 新規受託項目 (⇒ 3ページ)

- 抗酸菌同定・薬剤感受性検査セット

●内容変更項目

●抗酸菌薬剤感受性検査

- ・非結核遅発育抗酸菌（SGM）薬剤感受性検査
- ・非結核迅速発育抗酸菌（RGM）薬剤感受性検査

今年度、非結核性抗酸菌に対する薬剤感受性検査が新しくなりました。

変更点として、発育の特性から遅発育菌と迅速発育菌に細分化されました。

ご依頼の際は、従来通り非結核性抗酸菌薬剤感受性検査にチェックをお願い致します。

変更前	変更後
非結核性抗酸菌薬剤感受性検査	非結核遅発育抗酸菌（SGM）薬剤感受性検査
	非結核迅速発育抗酸菌（RGM）薬剤感受性検査

検査項目名	非結核遅発育抗酸菌（SGM） 薬剤感受性検査	非結核迅速発育抗酸菌（RGM） 薬剤感受性検査
検査材料	分離菌 または 菌株	
所要日数	7～29日	14～36日
検査方法	液体培地希釈法	
検査実施料/判断料	400点/150点（微生物学的検査）	
受託に関して	2024年4月1日より受託開始	

非結核性抗酸菌薬剤感受性検査は2024年3月30日をもって検査受託を中止致しました。

抗酸菌分離培養において発育した分離菌を使用して検査を実施致します。

所要日数はご依頼から結果報告までの日数です。増菌培養の日数が含まれます。

検査実施料/判断料は2024年12月現在のものです。

尚、結核菌に対しては、変更はございません。

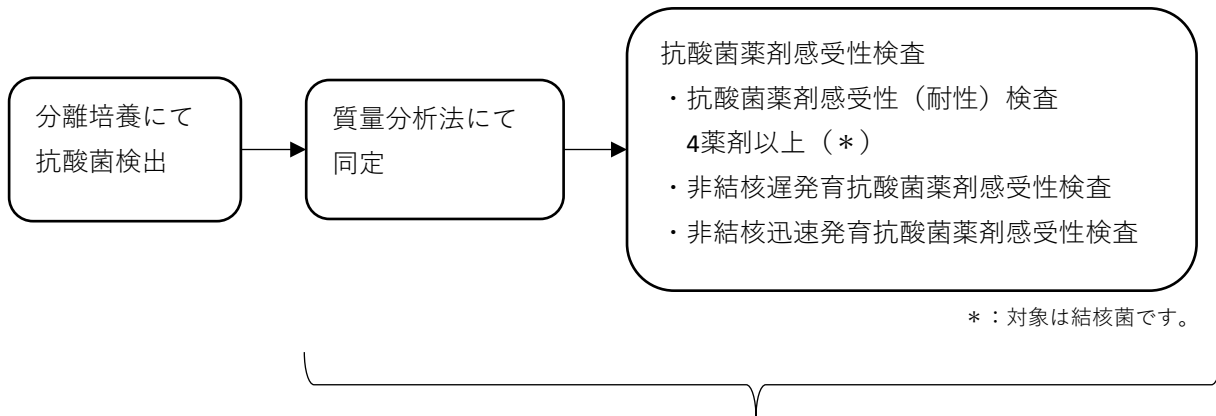
同定菌	非結核遅発育抗酸菌（SGM）	非結核迅速発育抗酸菌（RGM）
		M.avium、M.intracellulare、M.kansasii、M.marinum など
実施薬剤	CAM（クラリスロマイシン）*	AMK（アミカシン）*
	AZM（アジスロマイシン）	TOB（トブラマイシン）*
	MFLX（モキシフロキサシン）*	IPM（イミペネム）*
	AMK（アミカシン）*	FRPM（ファロペネム）
	MINO（ミノサイクリン）*	LVFX（レボフロキサシン）
	INH（イソニアジド）	MFLX（モキシフロキサシン）
	EB（エタンプトール）	AZM（アジスロマイシン）
	RBT（リファブチン）*	CAM（クラリスロマイシン）*
	STFX（シタフロキサシン）	ST（スルファメトキサゾール/トリメトプリム）*
	KM（カナマイシン）	DOXY（ドキシサイクリン）*
	DOXY（ドキシサイクリン）*	MEPM（メロペネム）*
	LZD（リネゾリド）*	LZD（リネゾリド）*
	TH（エチオナミド）	CLF（クロファジミン）
	RFP（リファンピシン）*	STFX（シタフロキサシン）

* CLSIのカテゴリー判定基準に準拠しS・I・Rをご報告致します。ただし、MACに対するMINO、RBT、DOXY、REPは判定基準がないため、S・I・RではなくMIC値のご報告となります。

●新規受託項目

●抗酸菌同定・薬剤感受性検査セット

質量分析法にて抗酸菌の同定を行い、同定された菌種に適した薬剤感受性検査を実施致します。
分離培養（MGITまたは小川培地法）にて抗酸菌が検出された場合、追加検査としてご利用ください。



抗酸菌同定・薬剤感受性検査セット

抗酸菌（質量分析法）は保険点数361点、

抗酸菌薬剤感受性検査は保険点数400点にて実施致します。